

キャラメルと飴玉

あめだま

レベル 初級 しよちゅうきゅう

【原作】夢野久作 げんさく ゆめのきりうさく

【簡約】小野菜々花、鈴木麻友 かんやく おのななか すずきまゆ

【挿絵】小野菜々花 さしえ おのななか



ある家いえに、お菓子かしの箱はこがありました。その中なかには、たくさんのお菓子かしが一緒いっしょに住すんでいます。ある時とき、キャラメルと飴玉あめだまがけんかをはじめました。

キャラメルがが飴玉あめだまの悪口わるぐちを言いいました。

「おい、飴玉あめだま。お前は形かたちがまるくて、甘あますぎる。

良いところなんかないだろう。」

つづ 続けて、このように言いいます。

「俺おれはちゃんと着物きものを着きて四角しかくいおうちにはいつて

いるんだぞ。お前は着物きものなんかないだろう。」



飴玉は顔を赤くして怒りました。そして、こう言いました。

「失礼なことを言うな。外に出る時にはちゃんと三角の

紙の着物を着て行くんだ。」

今度は、飴玉がキャラメルの悪口を言います。

「お前はキャラメルなんていう名前がよくない。

日本にいるのならもつと日本らしい名前をつけろ。」

すると、キャラメルはこう言いました。

「お前こそ、失礼なことを言うな。おいしいお菓子には



みんな西にしの方ほうの名前なまえが付ついているんだ。例たとえば、

カステラはスเปนの言葉ことばだぞ。『シュークリーム』も

『ワッフル』も、西にしの国くにの言葉ことばだ。『あめ』や『せんべい』

などという日本にほんらしい名前なまえのお菓子かしは、安やすくて

おいしくないものばかりだ。」

「うそを言いうな。ようかんはお前まえよりずっとおいしいぞ。

コンペイトウはロシア語ごの名前なまえだけど、俺おれよりずっと

おいしくないぞ。ウエハースはお腹なかがいっぱいにならないじゃないか。」



「ふん、ウエハースは身体からだに良いんだ。俺おれには牛乳ぎゅうにゅうが

入はいっている。だからお前まえよりずっとすごいんだ。」

「何なんだと、俺おれにはシナモンが入はいっているんだ。」

シナモンは薬くすりになるんだぞ。お前まえの中なかには牛乳ぎゅうにゅうが

入はいっているだけじゃないか。」

「うるさいな。」

「お前まえだって。」



そして二人はけんかを始めました。けんかを見ていたキャラメル仲間と飴玉の仲間も入ってきました。そのうちみんなくっついて動けなくなりました。



そこへ男の子がやって来ました。

男の子はお菓子の箱を開けて驚きました。

男の子は大きな声で言いました。

「お母さん、大変。お菓子がけんかをしている。」

お母さんが来て言いました。

「もう、色々なお菓子を入れてはいけません。

私がこの箱を壊してあげるわ。」



そして、お母^{かあ}さんはお菓子^{かし}の箱^{はこ}を金槌^{かなづち}で壊^{こわ}してしまいました。



やさしい日本語で読む日本文学
『キャラメルと飴玉』『きのこ会議』

2023年3月1日発行

発行 宮城学院女子大学 学芸学部 日本文学科

印刷 株式会社 フロット

許可なしに転載・複製することを禁じます。